

夏の参院選後に 安倍首相が トランプに差し出す 「日本の国益は これだ!!」

日本が警戒するのは自動車の対米輸出に数量制限を課されること。すでにアメリカは新NAFTAでカナダやメキシコに数量制限を設けるよう要求した



「トランプ! 大相撲観戦! 居酒屋テナー!」と接待姿勢のいかにもく、トランプ大統領が日米貿易交渉の内事をツイッターであらわし暴露。いったい日本の首相のこころをどうたけなめてんだ(怒)。そして、その中身を明らかにするのは「選挙後」こそ、国民ナメてんのかよ、シンゾー首相!! (怒)

不都合だから 選挙前に発表できない

令和初の国賓として来日し、5月に即位されたばかりの天皇、皇后両陛下との皇居での会見や豪華な宮中晩さん会への出席。さらには、シンゾーによる接待ゴルフに国技館での大相撲観戦、居酒屋テ

ナーを楽しんだら、海上自衛隊横須賀基地で自衛官と米海軍隊員を前に演説と、2017年以來の訪日を思い切り満喫したアメリカのトランプ大統領。

文字どおり、絵に描いたような安倍政権の接待姿勢に「日米関係はかつてないほど緊密だ」と終始、機嫌なトランプ大統領と、その一挙手一投足を人気スターのように追い続けたメディアの過熱報道ぶりも含めて、5月25日から4日間にわたる「トランプ来日狂騒曲」は幕を閉じた。



日米貿易「成果」は「日本国民にはまだナシ」

トランプ自らツイッターで「大きな進展は7月の選挙後」と宣言

Donald J. Trump
President-elect

Great progress being made in our Trade Negotiations with Japan. Agriculture and beef heavily in play. Much will wait until after their July elections where I anticipate big numbers!

9/19/2019 12:04 PM EDT

31,488,870 リツイート

5月26日、来日したトランプ大統領とトランプに負ける安倍首相。両人の笑顔が注目を浴びた。トランプは自身のツイッターで「日本との貿易交渉で大きな進展は7月の選挙後まで待つが、大きな数字を期待する」と投稿。その自信たっぷりのツイートをみる限り、日本国民の目が居かない水面下では、日米貿易交渉が「アメリカファースト」で加速しているのではと疑いたくなるのは当然だ。それにしても、なぜ日米貿易協定の合意発表が「7月の参院選挙後」(衆参同日選挙もさややかれているが)でなければならぬのか? 「選挙は簡単です。日米合意の内容は安倍政権にとって都合が悪い。つまり、選挙前に有権者に知られたくないからです」と解説するのは、TPPをはじめとする自由貿易協定を



CPTPP

MARCH 8, 2018, SANTIAGO, CHILE

COMPREHENSIVE AND PROGRESSIVE AGREEMENT

昨年米にアメリカ抜きでスタートしたTPP11(写真左上)、今年2月に参加した日印EPAで先行されたアメリカ抜きは、選れを取り戻そうと日米貿易交渉で農産物の関税削減を急ぎたい考えだ。日本は特に農産、食の安全の分野で大きな影響があるという

ウオッチし続けてきたNPO法人「アジア太平洋貿易センター(PARC)」の共同代表内田聖子氏だ。「今回のトランプ訪日期間中に、日米貿易協定に関する具体的な合意をしないことは、日米首脳会談の前に行なわれた茂木敏充経済再生担当大臣とトランプハイサイ米通商代表部(USTR)代表との関係協議の時点で、織り込み済みでした。

動画や農業などの分野で日本側に大幅な譲歩を求めています」

内田氏が続ける。「安倍政権はこれまで、「日米貿易協定はTPP11(昨年来に参加したアメリカ抜きの11カ国による経済連携協定)の範囲内で」と言い続けてきましたが、トランプ大統領は「TPPなんて関係ない」と公言しています。

一部のメディアは、今回のトランプ大統領訪日で安倍政権が見せた涙ぐましい接待が、今後の日米貿易交渉で日本に有利に働く可能性もなどと楽観的に報じていますが、現実はその甘くありません。

結局、日本が「TPPを超える議定書」を強いられる可能性は高く、その事実を選挙前に明らかにしたくない安倍首相が、アメリカに「合意の発表は夏の参院選挙まで待つてほしい」と頼み込んだのでしよう

なるほど。夏の参院選で負けれない安倍首相は、不都合な「日本の譲歩」を選挙後まで国民に隠しておきたいし、2020年に大統領選を

だが、肝心の日米首脳会談後では「共同声明」の発表はなく、注目された日米貿易交渉に関しても「今後、日米の議論を加速させてゆく」という点で合意しただけで、中身に関する具体的な発表はほぼ皆無だった……。

ところが、来日中のトランプ大統領は自身のツイッターに「日本との貿易交渉で大きな

な進展があった。農業と牛肉は大きな影響がある。7月の選挙後まで待つが、大きな数字を期待する」と投稿。その自信たっぷりのツイートをみる限り、日本国民の目が居かない水面下では、日米貿易交渉が「アメリカファースト」で加速しているのではと疑いたくなるのは当然だ。それにしても、なぜ日米貿易

協定の合意発表が「7月の参院選挙後」(衆参同日選挙もさややかれているが)でなければならぬのか? 「選挙は簡単です。日米合意の内容は安倍政権にとって都合が悪い。つまり、選挙前に有権者に知られたくないからです」と解説するのは、TPPをはじめとする自由貿易協定を

来年の大統領選を控え、巨額の貿易赤字削減を目指すトランプ大統領は、対中国や対EUと同様に、日本に対しても「自動車と鉄鋼製品の関税を25%に引き上げるぞ」と脅威な脅しをかけながら、自

週刊ポスト 2019.6.24